

9月28日、「語り部による伝承会」にぜひお越しください！

今月の9月28日、午後1時30分から、「語り部による伝承会 ～公害の教訓を語り伝えるために～」を資料館で開催します。

四大公害病の語り部の方に、それぞれの公害病について語ってもらいます。

当日は、「イタイイタイ病資料館」のほか、「四日市公害」の語り部の方2名、「水俣市立水俣病資料館」、「新潟県立環境と人間のふれあい館」からそれぞれ1名の語り部さんもお招きし、講話していただきます。

また、公害の被害や克服の歴史の継承策について、意見交換会を行います。

四大公害病の語り部が一堂に会するのは、全国初となります。

ぜひ多くの方々のお越しをお待ちしています。

■ 「語り部による伝承会 ～公害の教訓を語り伝えるために～」【入場無料】

日 時 平成25年9月28日（土） 午後1時30分～5時

場 所 富山県立イタイイタイ病資料館 2階交流学習ルーム

内 容 語り部講話／水俣市立水俣病資料館 語り部

新潟県立環境と人間のふれあい館 語り部

四日市公害 語り部

富山県立イタイイタイ病資料館 語り部

語り部の皆さんらによる意見交換会

「公害の教訓を語り伝えるために」

詳しくは、資料館ホームページをご覧ください。

「資料館ホームページ」(URL <http://itaitai-dis.jp>)

## イタイイタイ病の教訓を親子に繋ぐ「夏休み自由研究講座」開催

夏休みに親子でイタイイタイ病について学び、自由研究に役立ててもらおうと8月2日（金）と3日（土）、「夏休み自由研究講座～イタイイタイ病を学ぼう～」を開催しました。今年で2回目となる講座には、2日間で県内12の小学校4～6年生18名と保護者の計33名が参加しました。

参加者は、ガイダンス映像などでイタイイタイ病の概要を把握した後、語り部の高木良信さん（イタイイタイ病対策協議会副会長、患者遺族）とともに展示室を見学。被害の原因や実態、患者の症状、裁判闘争、環境被害対策までの歴史について、高木さんの実体験を踏まえたお話やワークシートクイズにも回答しながら、公害の悲惨さと被害の根絶に向けた取り組みを学びました。

その後行った水に関する実験では、各々「台所洗剤を入れた水」や「近くの河川水」などの汚れの程度を測定し、身近なところから始められる環境保全活動についても、関心を高めていただきました。



勝訴判決の日に「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」を開催

8月9日、イタイイタイ病の原因であるカドミウムを排出した神岡鉱山や復元された農地などを巡り、イタイイタイ病の恐ろしさや克服してきた歴史を学ぶ「日帰りバスツアー」を開催しました。朝から強い日差しが照りつける中、県内8の小学校4～6年生11名と保護者の計20名が資料館に集合しました。

展示室でイタイイタイ病の概要を学んだ一行は、バスに乗車し、神岡鉱業㈱へ向かいました。工場では、「排水管理センター」や直径30mの排水処理施設「シックナー」を見学。工場排水に含まれるカドミウムなどの重金属と水を分離して処理するしくみなどを学びました。午後は、広大な敷地に鉱石のくずを溜め、水分と固形分に分離する「和佐保たい積場」で、処理設備の概要や管理の説明を受けました。

また、行路の前後には、復元工事で汚染田からよみがえり、豊かな稲穂が実る水田の様子や復元工事のために土砂を採った跡地も見学し、多大な労力と長い年月をかけた復元事業の苦労についても実感していただきました。

昭和47年8月9日のイタイイタイ病裁判の勝訴判決から、41年目。公害の克服の歴史に向けて動き出した原点ともいえる日に置県130年記念事業として開催した今回のバスツアー。資料館の行事の中でも一際、感慨深いものとなりました。

